

大学院における学位授与状況

【現状説明】 学則に定められた修了要件をもとに、厳格な修了判定を行っています。

大学院	博士前期課程および修士課程においては、原則として2年以上在学のうえ履修授業科目30単位以上を修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格した者に修士の学位を授与しています。 博士後期課程においては、原則として3年以上在学のうえ履修授業科目18単位以上を修得し、かつ博士論文の審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与しています。
-----	--

卒業判定

【現状説明】 学則に定められた卒業要件をもとに卒業判定を行っています。

共通	学則上、学部・学科ごとに分野別の必要単位の内訳が詳細に定められており、その要件に沿ったうえで、大学においては124単位以上、短期大学部においては62単位以上の単位修得をもって卒業の資格を得ることができます。また、大学は4年間、短期大学部は2年間を最低在学年限として定めています。 学部・学科や年度により多少状況は異なりますが、本学の卒業判定合格率は大学・短期大学部ともに平均して95%を超えています。
----	--